

しかし結婚と子育てにはお金がかかります。結婚して子どもが欲しくてもお金がないということで結婚に踏み切れない方もいます。その部分の支援を手厚くするのも良いと思います。



先崎智美さん

子どもたちに世界でナンバーワンの教育を

【飯岡崇さん】

教育についてですが、今の日本は10年後でさえどうなっているか分からない不透明な時代に突入していると感じています。そのような時代には、自分で答えを見つける、自分で考えて問

題を解決する能力が今後重要になってくると考えます。小野町の子どもたちにそういった能力を付けさせる目的を兼ねて、まず小野町として福島県ナンバーワン、そしてその後世界でナンバーワンの教育の町ということを宣言して実行していただけたらと思います。小野町で高いレベルの教育が受けられることで人の流入もあると考えています。教育のレベルが高いと子どもたちの学歴も上がり、所得も増え、最終的に恩返しという形で小野町に貢献してやっていきたいという方も出てくると思います。

子育て環境の情報を発信してほしい

【郡司和洋さん】

私は2歳と1歳の子どもが2人いますが、なかなか小野町には子どもを遊ばせる場所がないのでどうしても県外の方に遊びに連れてってしまおうという現状

で、町内など近くで遊ばせる場所があれば良いと思いますがなかなかそういう情報もありません。教育環境ですが、近くの学校は子どもが少なくなってきたので、学校を選ばなくちゃいけないのかなというのを正直感じてます。



郡司和洋さん

子育てマップの作成を

【吉田裕さん】

子育て環境についてですが、郡司さんもおっしゃっていましたが、どこに何があるかわからないという感じですね。子どもを連れて出かけた時に、どこでおむつを替えていいのか、どこに

遊び場があるのか、どこで授乳ができるのか。実際に自分で足を運ばないとわからないです。小野町も子育てマップのようなものを整備すると動きやすくなると思います。ほかに、子どもが保育園などで急に熱が出ると家に帰されます。そのとき、親は仕事を休まなくてはならなくなります。公立病院が新築されたのでこれを生かして対応していただければと思います。

子どもの遊び場を

【吉田弥生さん】

子育て環境ですが、子どもの遊び場が少ないかなと思います。私が住んでる所は夏井ですが子どもたちだけで行ける交通手段が限られて不便さを感じています。また保育園の3歳未満児の預かり定員が少ないので復職がなかなかできないとおっしゃっていた方がいます。私は子どもが2人いるんですけども、親と一

緒に住んでるので夏休みなどの長期休業期間は、おじいちゃんおばあちゃんが見てくれるんですが、それができない共働きのご家庭では、小さい子どもたちはどのように家で過ごしているのかなと思っています。このような点で支援の充実が必要だと思います。



吉田弥生さん

このほか、菅原守さんからは「スクールバス事業の維持・拡充について」、橋本由美子さんからは「子育て環境向上のためには女性と子どもにとって住みやすい環境づくりが大切ではないか」とお話をいただきました。